

Plum



September
2025

Issue

#12

IWN: Ikeda Women's Network

2025
8.2

今回もジャーナリスト浜田敬子さんによるパワフルな講演からスタート。ジェンダーギャップ指数が低迷する日本の課題、そして私たちに根付くアンコンシャスバイアスなどについて、データに基づき丁寧に解説していただきました。その後は、1期生3人の登壇です。IWNで得られたネットワーク、そしてそれぞれチャレンジしたWiiについて共有していただき、2期目の皆さんへエールを送っていただきました。これからチャレンジ計画の発表の12月まで、皆さんぜひ頑張ってください！

IWNの2期がスタートしました！



自分の思いをカタチに。

7.1 火・4 金・8 火

インド文化体験ワークショップ



奥深いインド文化を、3日に渡り楽しく学びました。参加者はアールヴェーダの基礎知識の学びを主軸に、講師のインド滞在時の体験談を聞いたり、インド特有のハーブやスパイスを使ったハーブティーを飲んだり北インドスパイスカレーを食べたりすることでインド文化をより身近に感じることができました。

7.1・15・22・29 火

ベトナム語 入門講座



8.5 火・7 木

ロビンさんと一緒に Let's Enjoy English



言語に興味があった人、同僚にベトナム人がいる、技能実習生と関わって仕事をしている人など、参加の理由は様々でした。皆さんとても熱心にクラスに参加してくれました。「ベトナム語の言葉の背後にある考え方、発想という文化に触れることができました」、「発音の重要さがわかりました」、「言葉は理屈じゃないと身にしみました」などの感想をいただきました。今回、入門講座として、初めて開講しましたが、この機会を通じて、ベトナムについて興味を持ち、語学や文化のさらなる学びへつながってほしいと思います。

8.20 水 ぽんごカフェ

「やさしいぽんごで話そう」

水曜日の「やさしいにほんごで話そう」のクラスで、浴衣着付け体験と日本のお茶体験をしました。浴衣を着て盆踊りをしたり、日本茶と和菓子をいただいたり。みんなでおしゃべりをしながら、日本の文化を体験しました。

最初は緊張していた子どもたちも、少しずつ慣れて、積極的にクラスに参加してくれました。フラッシュカードを使い、簡単なフレーズを覚えて話すゲームや、覚えた単語のイラストを探す「宝探しゲーム」は、とても盛り上がりました！クラフトタイムでは、今回のテーマとなった“夏のビーチ”にちなんで、折り紙や、シール、クラフトテープを使って、魚とクラゲを作成し、持ち帰りました。元気な子どもたちの笑い声がいっぱいの楽しい2日間となりました。



やさしい
にほんごで
話そう



8.23 土曜日 TBV Funday!



今夏はポップコーンをつくりました。定番のしお味に加え、イチゴ味の 2 種類を用意。どちらもできたてはとってもおいしくて、子どもたちにも大人気でした。かき氷は自分で氷を削って作るスタイル。少し力が要りますが、どの子もあっという間に削ります。

夏休みの間、毎週末暑い中足を運び、学校で出される宿題をメインにがんばった子どもたちでした。2 学期も元気に参加してほしいです。

夏休み終了間近の 8 月 23 日に、TBV FUNDAY を開催しました。

子どもたちとその家族、いつもお世話になっているボランティアさんと、ダイバーシティセンタースタッフの総勢 16 名が多目的スペースに集い、楽しいひと時を過ごしました。

今回は初めて「工作」がメイン。『「ねんどでつくる」光る! ゆらゆらモビール』を製作しました。一見簡単にできるものかと思いきや、ワイヤーを測って切るところからはじまり、ワイヤーを曲げたりするのにも苦労。保護者の方やスタッフに手伝ってもらいながら作業を進めていきます。男の子達は真剣そのもの。その集中力には目を見張るものがありました。その後、ねんどでモチーフを作るのですが、どれも見本とは違った、皆それぞれ個性がある、味わい深い素敵な作品に仕上がりました。

工作が仕上がった人から、お楽しみのおやつタイム。毎年大人気のかき氷に加え、ボランティアの矢ヶ崎さんにご協力いただき、

8.29 金曜日 IDC 多文化共生セミナー「やさしいにほんご講座」

今回の多文化セミナーは、1995 年の阪神・淡路大震災をきっかけに、外国人被災者のために生まれた後、今も広がりを見せる「やさしいにほんご」について、大阪 YMCA 日本語教育センターセンター長の亀田美保さんに教えていただきました。講座ではやさしいにほんごについての基礎知識をはじめ、実際にロールプレイングを用いて難しい言葉をやさしい言い方に置き換える難しさや有意義さを体験する事で、やさしいにほんごに関する理解が深まる内容となりました。



6.14・7.12・9.6 土曜日 2230 ケア講座



6月14日(土)

心身ともに影響の大きいトラウマやこころの傷付きの仕組みについてお話しいただきました。トラウマの特徴や発生しやすい条件、トラウマ反応に必要なのはコントロールではなくケアであることなどを論理的な視点で解説いただき、参加者から納得の声が上がりました。トラウマによるさまざまな感情や身体症状は自然なことであり、これらの反応を知ること自体が有効なセルフケアのひとつだと理解することができました。

7月12日(土)

暴力の構造と本質についてお話しいただきました。DV (ドメスティック・バイオレンス) は加害者が権力・支配・暴力を複合させて被害者を支配下に置くものであり、心身に重大な影響を及ぼす極めて危険な状態であると再認識することができました。参加者より「このように学んでいることこそがセルフケアになっていると感じる」という感想が寄せられ、熊田さんの「やさしさの半分は知識でできている」という深い思いが伝わった様子でした。

8月9日(土)

今回は、回復に向けたセルフケアの方法をテーマにお話しいただきました。熊田さんは、目指すのはこころの傷との共存であると強調され、傷やトラウマをなかったことにせず、それも自分の一部と受け入れることが回復の第一歩であると力強く伝えていただきました。ワークやピアサポートグループで自分自身と向き合う時間を取り、自尊心・境界線を強めるセルフケアにも前向きに取り組むことができました。全 4 回を通して、すべての参加者の気持ちに寄り添った温かい講座となりました。

7.19 土曜日 パパトーク



須田さんより女の子のカラダの変化についてご説明いただきました。月経に伴う様々なトラブルやしんどさについて、またそれが疾患につながる可能性があることについて認識することができました。また生理用ナプキンが配布され、使用法について説明するとともに、月経の際にはこれが数時間、股についていることの違和感についても共有されました。

小学生～高校生の子のいる父親が参加し、「子どもに何が起きているのか知ることができ、月経時の子どもとの接し方について具体的に学べた」といった感想が寄せられました。

7.19 土曜日 パパスクール



阿川さんには「0 歳児から 2 歳児における主な発達のポイントと遊び」をテーマにお話しいただきました。例えば 1 歳児の手遊び歌はリズム感・言葉の習得に繋がるなどといった、年齢別で行う遊びと発達のねらいを詳細に解説していただきました。また、パパが作るてづくりおもちゃの例に触れ、おもちゃは遊び方を決めずに子ども自身に想像力を働かせることがコツであるというアドバイスに参加者は深く頷いていました。後半はパパ同士の意見交換や講師への子育て相談など、終始和やかな雰囲気発言していました。

8.2 土曜日 パパカフェ



多くの知識・情報が必要となる「保活」について、保育コンシェルジュより「保育施設入所ガイド」に沿った解説をしていただきました。参加者の子どもの月齢は 2 ヶ月から 9 ヶ月までさまざまでしたが、パパからは「ポイント制ってなに?」「子ども園との違いは?」など積極的に質問が上がりました。

また、保育園入園後の過ごし方についての助言もあり「保活の全体観が理解できた」「こういう会があればまた参加したい」といった前向きな感想が寄せられました。

11月

パパカフェ

育児のこと、家庭のこと、仕事のことなど、
パパ同士でゆったりと話しませんか？

2025年

10月11日（土）

10:00-11:00



場所

ツナガリエ石橋
2階 わたぼうし

お子様同伴での
参加OK！

対象

未就学児の子を持つ
お父さん
&
ブレババ

- 定員 5組（先着順）
- ファシリテーター 荒木 正太
NPO法人ファザーリングジャパン会員
池田市在住・4児の父
- 申込み 二次元コードよりお申込みください。



池田市ダイバーシティセンター

池田市石橋1-23-6ツナガリエ石橋5階
ic@city.ikuta.osaka.jp 022-768-8034



いけだ パバスクール

パパのためのスクールを開校してほす！
パパパパ、そして貴我中のパパの皆さん、
一緒に遊び、交流しましょう！



2025年11月9日(日)





パパ料理～オムライスにチャレンジ～
バックカントリーオムライスに切ったトロロと手製餅が出てくる作りましょう！

昭和年代の「インズハート」
二代目オーナーシェフ
大下 泰弘

3食5部の「オムライス」として、「和食でハクする」を
ミットーに手製と和食の味としての味付けをつくる
奥の手で「オムライス」の二にも三にもなるオムライス
デザートを作るのも、奥手の味を味わう入賞者を目指す

時間	午前10時～午後4時	対象	フリーで、貴我中のパパ。小学生の参加も可。 100円と参加される方は、お申し込みながら調理 できるように配った紙を持ってきてください。
定員	10名	場所	ソナダリエ石巻5F 池田市タイバーシティセンター
費用	500円 (お昼食代金を含む。お昼の代金は別に お持ちください。)	持ち物	エプロン・三角巾

申し込み
二次元バーコードより
お申し込みください。



コーディネーター



尾本 正太
NPO法人フューチャーリンク
ジャパン 会長
池田市在住・4児の父



池田市の成人でドレボニータ
共同代表理事・山本 知子

☆ 今後の予定 ☆

2026年2月7日(土)
「産後ケアとパートナーシップ」





池田市ダイバーシティセンターニューズプログラムは年4回6月、9月、12月、3月に発行します。

kedadiversitycenter



Ikeda Diversity Center
enter Ikeda Diversity Center Ikeda Diversity Center
FACEBOOK

女性相談、外国人相談、日本語教室、子ども日本語教室のほか、様々なセミナーやイベント、出前講座を実施しています。
詳しくは市のホームページや広報誌、ダイバーシティセンターフェイスブックをご覧ください。